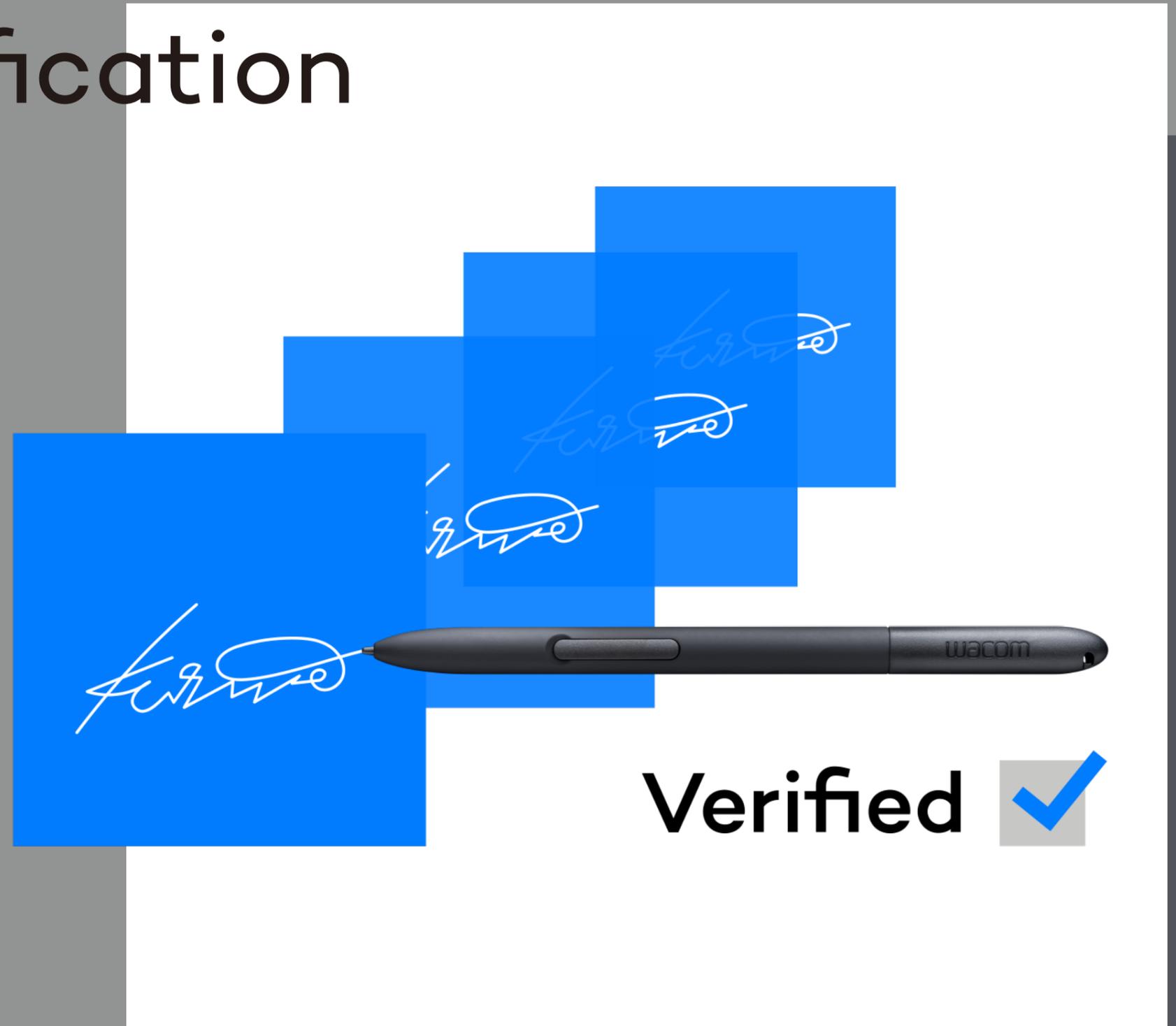


製品カタログ

# Wacom Ink SDK for verification

*Signatures  
you can  
trust*



WACOM® for Business

# Wacom Ink SDK for verification

## Signatures you can trust



手書きの電子サインをサイン時やサイン後に最大99%\*の精度\*で検証。

現在でも、手書きのサインは、重大な意思決定や重要な取引において最も使い慣れた有意義な方法です。しかし、サインの真正性を目視で検証する作業は、しばしば専門家でない担当者によって行われています。このような作業では、筆跡鑑定を用いた検証に比べてより多くエラーが発生します。

### 製品概要

Wacom Ink SDK for verificationは、手書きのサインの真正性を検証するための一連のソフトウェアツールです。このSDKの検証エンジンでは、2つの方式を用いてサインを検証します。

Wacom Ink SDK for verificationを使用すると、お客様との対面業務がある環境においても信頼性に優れた方法ですばやくサインを検証することで不正確性を排除し、サインの真正性が疑わしい場合は日常のリスク管理業務の一環として事後に警告を発することができます。

- 3件 ~最大12件の基準となるサインと比較照合する動的サイン検証
- 新しいサインを既知の最近の例と画像で比較照合する静的事後検証

このSDKは、単一の製品でいずれの検証方式も利用できる唯一のソリューションです。これらの方式は個別に、または組み合わせて使用することができます。

\* Wacom Ink SDK for verificationは最大99%の精度で検証を行えることが、テストにより証明されています。詳細は、Accuracy Report(サイン検証の精度に関するレポート: [wacom.com/verification-sdk](https://wacom.com/verification-sdk))をダウンロードしてください。

wacom®  
Ink SDK

## SDKの仕組み#

このSDKは、組織のドキュメント管理システム内にすばやく容易に統合できます。SDKの検証エンジンでは、新しいサインが記入されると、それをデータベースに格納された通常6件の基準となる例と照合し、検証を行います。

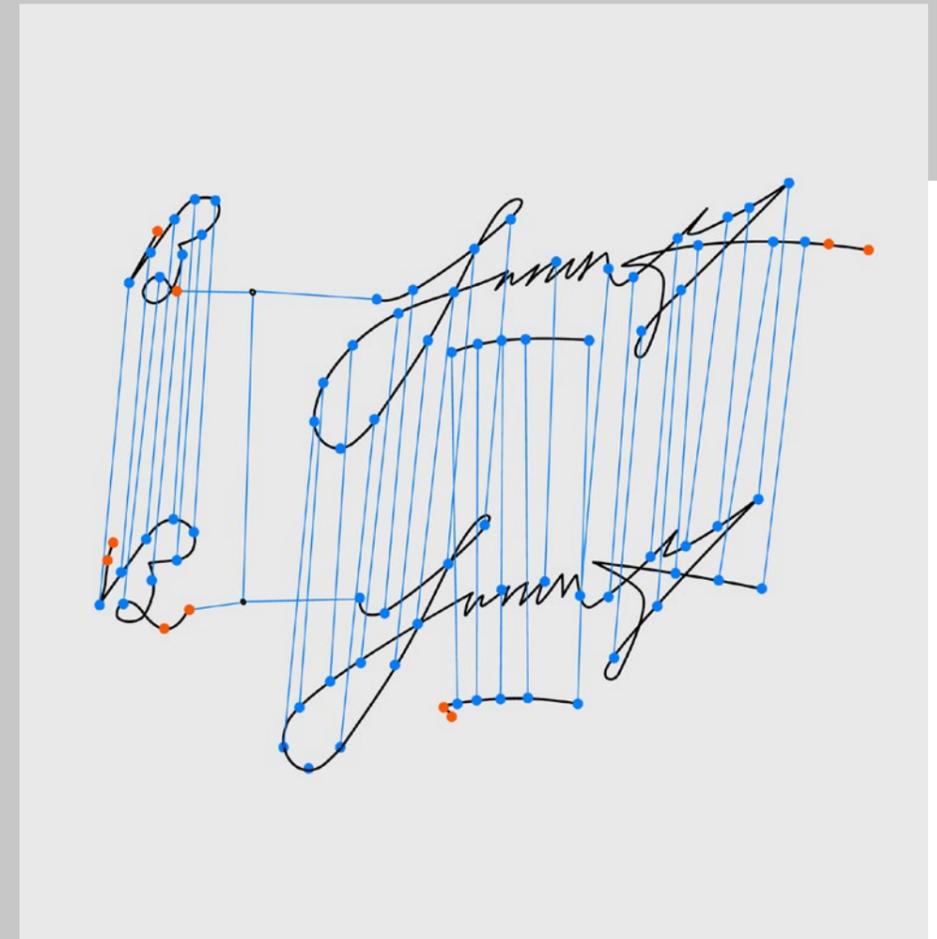
これらの基準となるサインは、複数のセッションにわたってテンプレートに徐々に、または1回のセッションで登録(キャプチャ)できます。このテンプレートは、経時的にアップデートすることが可能です。

**プログレッシブサイン登録**では、基準となるサインの登録期間は長くなりますが、精度は向上します。各サイン間に時間を空けることで本物のサイン同士の差異が大きくなりやすいためです。

**セッションサイン登録**では、基準となるサインの登録時間は短くなりますが、精度は低下します。すばやく連続で複数のサインを取り込むとサイン同士の差異が小さくなるためです。

検証エンジンでは、新しいサインを基準となる既知の例と比較してシンプルかつ正確に判別し、合否判別のメッセージを生成します。検証エンジンは、誤検出率を低くして最高のセキュリティを確保するように設計されていますが、サインの合否判別の許容範囲は組織ごとに柔軟に選択できます。

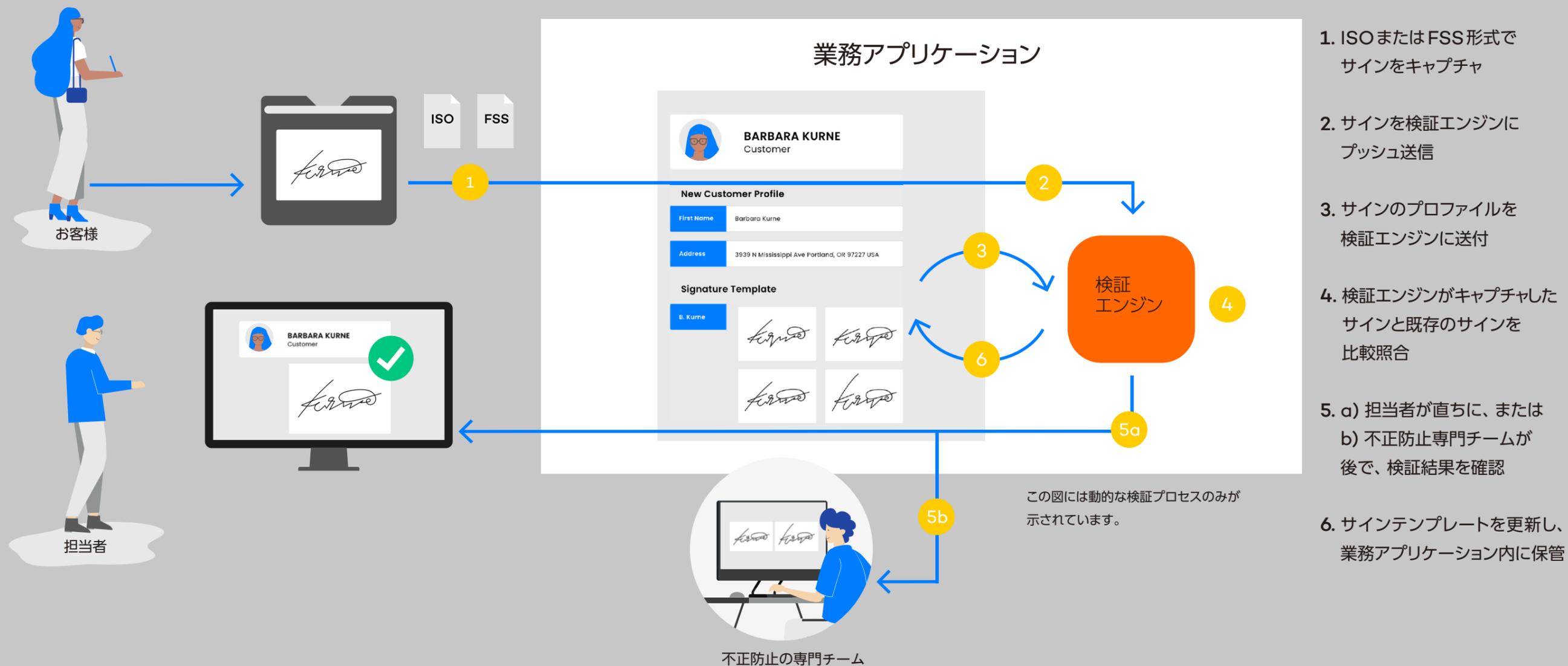
このエンジンの重要な点は、ソフトウェア側ではサインデータを一切保存しないという点です。そのため、サーバーベースのソリューションでありがちなコンプライアンスの問題の多くを排除できます。



# Wacom Ink SDK for verification

## Sample workflow, financial services

多くの取引では、依然として手書きのサインで認証を行っています。下記に、金融機関や企業の不正防止チームが偽造サインを見抜く方法としてワコムのサイン検証テクノロジーを使用している例を示します。



1. ISOまたはFSS形式でサインをキャプチャ
2. サインを検証エンジンにプッシュ送信
3. サインのプロファイルを検証エンジンに送付
4. 検証エンジンがキャプチャしたサインと既存のサインを比較照合
5. a) 担当者が直ちに、または  
b) 不正防止専門チームが後で、検証結果を確認
6. サインテンプレートを更新し、業務アプリケーション内に保管

# ワコムソリューションによる検証

Why it works better



## ワコムソリューションの違い

ワコムでは、数十年にわたる手書きの電子サイン用ハードウェアおよびソフトウェアの開発経験に基づき、サイン検証アプローチを構築しています。その重要な機能を以下に示します。

1. このSDKでは、紙ベースのサインのスキャンから完全にデジタルな手書きの電子サインソリューションに至るまで、さまざまなワークフローへの移行が容易です。
2. サインの比較を単一のソリューション内でデジタル形式かつ画像ベースでリアルタイムに実行します。
3. Wacom Ink SDK for signatureを使用して手書きの電子サインを生成することが可能なワコムデバイスやサードパーティ製ハードウェアと互換性があります。
4. 単一のサインから検証でき、複数または1回のセッションで取得した最大6件の基準となるサインとの比較照合が可能です。
5. サインを偽造したり、サインを正当なものに見せかけるという2つのシナリオを想定して最適化されています。
6. 他のサーバーベースのソリューションとは異なり、SDKにはいかなるデータも保管されないため、コンプライアンスのリスクを軽減できます。



## 速やかで簡単な統合

Wacom Ink SDK for verificationは、既存のアプリケーションやシステムへの導入をすばやく容易に行える軽量版のSDKです。Windowsサーバー上またはJavaウェブアプリケーション内で利用できます。

また、サインファイルを保管するためのCRMシステムなどの各種のアプリケーションや、手書きの電子サインをISO形式でキャプチャするハードウェアと互換性があります。

Wacom Ink SDK for verificationは、独自の専用サーバーが必要となる他のソリューションとは異なり、お客様が所有するサーバーにインストールし、APIを介して関連アプリケーションから呼び出すことができます。

キャプチャされたすべての電子サインやデータはお客様のサーバーには保管されませんが、SDKには保管されません。これにより、潜在的なコンプライアンスリスクやデータプライバシー問題の多くを排除できます。

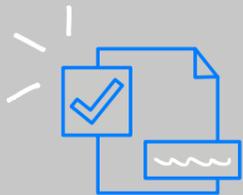
## 業種別ソリューション

Wacom Ink SDK for verificationを使用すると、サイン時にリアルタイムで、またはバックオフィスでの日常的なリスク管理プロセスにおいて、手書きのサインを悪用した不正行為を防止することができます。



### 金融サービス

ローン契約や高額な現金の引き出しといった重要な取引において身元をリアルタイムに検証したり、不正調査の際にそれらの有効性を確認したりできます。



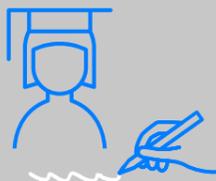
### 公共部門

有権者本人が投票したかどうかを検証することにより、選挙時の不正行為を防止します。



### 医療

コンプライアンス要件に沿って特定の手順や医薬品の承認を行う医療スタッフの権限を保護します。



### 教育

重要なテストを受けるために試験会場を訪れた学生の本人確認を行います。



### 観光・ホテル業

預けた荷物を受け取る際に身元を確認することで、貴重品の盗難を防止します。

*Signature*  
Verified ✓

### お客様のビジネスチャンス

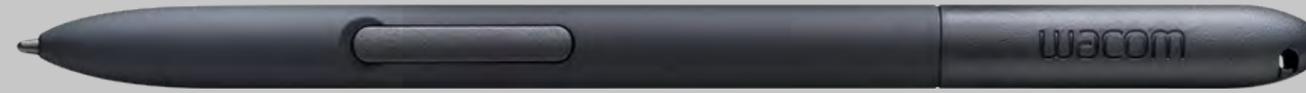
Wacom Ink SDK for verificationを活用すれば、お客様の顧客が使用するハードウェアや企業システムにかかわらず、お客様が既に使用している手書き電子サインソリューションに新たな付加価値を追加することができます。

*Evaluate it yourself*



お問い合わせや、Wacom for Businessソリューションコンサルタントによる 導入セッションのお申込みは、  
[wacom.com/ja-jp/for-business/contact](https://wacom.com/ja-jp/for-business/contact) からご連絡ください。

# More human



# More digital

詳しくは、ワコムビジネスソリューション営業担当者にお問い合わせください。

[forbusiness@wacom.co.jp](mailto:forbusiness@wacom.co.jp)

ワコムビジネスソリューションチームは、数十年にわたって業界をリードしてきたデジタルペンテクノロジーに基づき、対面でのやり取りが必要なワークフローのデジタル化をサポートいたします。正確なデジタルインクを保存および表示する当社のソフトウェアを使用すると、ワコムのハードウェアの機能を最大限に利用することができます。当社のパートナーネットワークを活用すれば、ワークフローに手書きの電子サインや注釈をシームレスに統合することが可能です。これにより、使い慣れたペンと紙の感覚を残したままで業務のデジタル化とペーパーレス化を実現することができます。さらに、WILL™ 3.0 (Wacom Ink Layer Language) 規格を使用すると、あらゆる用途にデジタルインクで対応するための新しいアプリケーションを強力にサポートすることができます。これにより、よりデジタルかつ人間に寄り添った体験を次世代のお客様に提供できるようになります。

WACOM® for Business



[tablet.wacom.co.jp/business](http://tablet.wacom.co.jp/business) © 2024 株式会社ワコム

お問い合わせ:  
株式会社ワコム 〒160-6131東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー31階  
[forbusiness@wacom.co.jp](mailto:forbusiness@wacom.co.jp)